

会計名			認可外保育所利用補助事業				担当部		次世代育成部		
一般会計							担当課		子ども課		
款	項	目					担当係		管理係		
3	2	1							施設係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	子育て支援								
		施策の内容	幼児教育・保育の充実								
	目的	認可外保育所利用者の保育料負担を軽減することにより、子育て支援の充実を図る。				主たる内容	認可保育所への申込みを行ったが、入所できずに認可外保育所を利用することになった3歳未満児の保護者に対して、所得に応じて保育料を補助する。				
		位置づけ									
		関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画								
		根拠法令	刈谷市認可外保育施設利用料補助金交付要綱								
	対象者	保護者				事業期間	平成24年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
・補助人数 103人 ・補助件数 延べ709件		・補助人数 87人 ・補助件数 延べ438件		・補助人数 80人 ・補助件数 延べ569件		・補助人数 106人 ・補助件数 延べ753件					
成果		認可外保育所を利用する保護者の負担を軽減することが出来た。									
課題		今後保育を利用できる条件が緩和される見込みがあることや、大規模な宅地開発やマンションの建設による地域間での保育需要の差もある等、将来の待機児童の状況は不透明であるため、保育ニーズを注視しながら適正な予算措置をしていく必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		補助人数（人）				103	87	80	106	106	
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		16,173	9,594	13,168	13,000	合計 13,168,102 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 13,168,102 円				
		一般財源	16,173	9,594	13,168	13,000					
	職員人件費 ②		1,136	753	767	0					
	総事業費（①＋②）		17,309	10,347	13,935	13,000					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0							
		7年度以降の事業費見込		0							

会計名			認可外保育所利用補助事業		担当部	次世代育成部
一般会計					担当課	子ども課
款	項	目			担当係	管理係
3	2	1				施設係
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	認可保育所を希望しても入所できず、認可外保育所を利用する保護者にとって、利用料の補助があることにより負担の軽減となる。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	低い	認可外保育所に案内書や申請書の配布や掲示等を実施したことにより、多くの対象者に周知することが出来た。また、毎月、補助を行うことにより保護者の負担の軽減となっている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	利用料の補助を実施することにより、認可保育所と同程度の保育料負担にすることができる。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	保護者の保育料負担を軽減することにより、施策に貢献している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	今後保育を利用できる条件が緩和される見込みがあることや、大規模な宅地開発やマンションの建設による地域間での保育需要の差もある等、将来の待機児童の状況は不透明であるため、保育ニーズを注視しながら適正な予算措置をしていく必要がある。					

会計名			公立保育園業務支援システム導入事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3						管理係	

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心					
		基本施策	子育て支援					
		施策の内容	幼児教育・保育の充実					
		目的	保護者連絡を電子化し、保護者の利便性を向上させるとともに、保育教諭が行う機械的な作業を簡素化し、保育教諭が子どもと向き合う時間を増やすことで、子育て支援の質及び安全性の向上を図る。		主たる内容	タブレットやスマートフォン端末を活用して、園児の登園及び降園の管理や園からのお知らせ等を行うためのシステムを導入する。		
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
	対象者	園児、保護者、保育教諭		事業期間	令和4年度～令和5年度			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度計画			
成果		公立保育園に業務支援システムを導入することができた。						
課題								
指標名称（単位）			実績値		目標値			
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
成果指標		業務支援システム導入施設数（施設）		—	—	10	—	—
活動指標								
他市との比較検証	碧南市 令和5年度導入 安城市 令和2年度導入 知立市 令和4年度導入 高浜市 令和4年度導入							
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	21,402	0	合計	21,402,329 円
	財源	特定財源	0	0	21,402	0	委託料	13,526,462 円
		一般財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料	3,642,867 円
	職員人件費 ②		0	0	844	0	備品購入費	4,233,000 円
	総事業費（①+②）		0	0	22,246	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0	デジタル田園都市国家構想交付金			
7年度以降の事業費見込		0	保育対策総合支援事業費補助金					

会計名			公立保育園業務支援システム導入事業		担当部	次世代育成部
一般会計					担当課	子ども課
款	項	目			担当係	施設係
3	2	3				管理係
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	- 法的業務 - 市民ニーズ、社会需要 - 市民生活上必要である など	高い	良好な教育・保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。	
		効率性	- コストの節減、費用対効果 - 執行体制の効率性 - 手段の最適性 など	普通	園の運営に配慮し、コストを抑えて実施していく必要がある。	
		妥当性	- 市が主体となって実施すべき事業であるか - 総合計画との整合性 など	高い	業務支援システムの導入により、教育・保育環境を向上させる事業であり、市の全体的な関与が必要である。	
		施策への貢献度	- 施策への貢献度 - 目標達成度 - 市民サービスへの効果 など	高い	園からの連絡が電子化されることで、保護者の利便性向上につながり、市民サービスへの効果がある。	
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
引き続き導入した業務支援システムを活用していく。						

会計名			東刈谷保育園大規模改造事業				担当部		次世代育成部		
一般会計							担当課		子ども課		
款	項	目					担当係		施設係		
3	2	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	子育て支援								
		施策の内容	幼児教育・保育の充実								
	目的	園舎の機能を回復させるとともに、保育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、施設の保全及び良好な保育環境の維持を図る。				主たる内容	昭和57年に建設された園舎の内外装及び設備の改修工事等を行い、施設の延命化及び予防的な保全を行う。 構造：鉄筋コンクリート造2階建て 規模：延床面積 1,520.26㎡				
		位置づけ									
		関連計画									
		根拠法令									
	対象者		保育園児、保護者			事業期間		令和4年度 ～ 令和5年度			
	実施方法		■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
		・仮設園舎建設		(R4繰越分含む) ・大規模改造工事							
成果		老朽化による建物の損耗や機能低下の復旧を目的とした園舎の大規模改造工事を実施し、良好な保育環境への改善ができた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		整備進捗率（％）			—	20.0	100.0	—	—		
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	15,486	449,355	0	合計 449,355,233 円				
	財源	特定財源	0	0	402,531	0	需用費 1,292,433 円				
		一般財源	0	15,486	46,824	0	使用料及び賃借料 77,431,000 円				
	職員人件費 ②		0	0	2,072	0	工事請負費 369,286,500 円				
	総事業費（①+②）		0	15,486	451,427	0	備品購入費 1,345,300 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称						
		5年度までの累積事業費		0	公共施設維持保全基金						
		7年度以降の事業費見込		0	東刈谷保育園大規模改造事業債 前年度繰越金						

会計名			東刈谷保育園大規模改造事業	担当部	次世代育成部	
一般会計				担当課	子ども課	
款	項	目		担当係	施設係	
3	2	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	良好な教育・保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	増築棟を活かした計画とすることで、仮設園舎の規模を縮小してコストを抑え、園の運営に配慮できた。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	老朽化していた施設を改修して教育・保育環境を向上させる事業であり、市の全体的な関与が必要である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	保育園の整備・充実に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☒ 休止・廃止			
	事業完了に伴い廃止。					

会計名			私立保育所運営支援事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	3								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	私立保育所の運営に係る費用を補助することで、保育士等の処遇向上や施設の運営改善等保育環境の向上を図る。				主たる内容	私立保育所に運営を委託するとともに、次に掲げる費用の補助を行う。 ○職員処遇費 ○1歳児保育事業費 ○産休等代替職員設置費 ○保健師等設置費 ○障害児保育事業費 ○祝日保育事業費 ○管理費 ○借入金返済費 ○緊急地震速報受信装置設置費 ○嘱託医設置費 ほか5経費			
		位置づけ	関連計画	第2期刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令	子ども・子育て支援法、刈谷市私立保育所運営費等補助金交付要綱 等							
		対象者	特定教育・保育施設、地域型保育事業者	事業期間	～					
		実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・運営委託 ・運営補助		・運営委託 ・運営補助		・運営委託 ・運営補助		・運営委託 ・運営補助		
成果		私立保育所に委託や補助をすることで、安定した施設運営を続けることができた。								
課題		子ども・子育て支援交付金、保育対策総合支援事業費補助金等の国県補助内容の動向に注意が必要である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		委託保育施設数（施設）		10	11	11	11	11		
活動指標		待機児童数（人）		4	0	0	10	0		
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,315,381	1,500,000	1,648,917	1,890,446	合計 1,648,917,001 円			
	財源	特定財源	811,292	954,126	1,049,613	1,269,065	委託料 1,378,862,490 円			
		一般財源	504,089	545,874	599,304	621,381	負担金、補助及び交付金 270,054,511 円			
	職員人件費 ②		3,255	6,023	7,212	6,358				
	総事業費（①+②）		1,318,636	1,506,023	1,656,129	1,896,804				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0	保育所等整備交付金 子どものための教育・保育給付交付金 私立保育所保護者負担金 等					
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			私立保育所運営支援事業	担当部	次世代育成部	
一般会計				担当課	子ども課	
款	項	目		担当係	管理係	
3	2	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	私立保育所に対して補助を行うことにより、保育環境の充実化や待機児童解消に向けての対応が図られているので、必要性の高い事業といえる。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	市に必要な保育所の建設や運営の一部を私立保育所が行うことで、待機児童への早急かつ効率的な対応ができる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	私立保育所の事業や保育環境を充実するための市の関与が妥当である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	刈谷市内の私立保育所の運営、充実に寄与している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	今後も私立保育所の運営等の支援や補助を行い、職員の処遇向上、待機児童の解消を図る。					

会計名			幼児園業務支援システム導入事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	4						管理係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	保護者連絡を電子化し、保護者の利便性を向上させるとともに、保育教諭が行う機械的な作業を簡素化し、保育教諭が子どもと向き合う時間を増やすことで、子育て支援の質及び安全性の向上を図る。				主たる内容	タブレットやスマートフォン端末を活用して、園児の登園及び降園の管理や園からのお知らせ等を行うためのシステムを導入する。			
		位置づけ								
		関連計画								
		根拠法令								
	対象者	園児、保護者、保育教諭				事業期間	令和4年度～令和5年度			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
				(R4繰越分) ・業務支援システム導入 ・無線LAN環境構築						
成果		幼児園に業務支援システムを導入することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		業務支援システム導入施設数（施設）				—	—	15	—	—
活動指標										
他市との比較検証		安城・知立の公立園は導入済。								
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	30,221	0	合計	30,221,031 円		
	財源	特定財源	0	0	30,197	0	委託料	16,537,474 円		
		一般財源	0	0	24	0	使用料及び賃借料	7,209,557 円		
	職員人件費②		0	0	844	0	備品購入費	6,474,000 円		
	総事業費（①+②）		0	0	31,065	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		デジタル田園都市国家構想交付金				
		7年度以降の事業費見込		0		保育対策総合支援事業費補助金				

会計名			幼児園業務支援システム導入事業		担当部	次世代育成部
一般会計					担当課	子ども課
款	項	目			担当係	施設係
3	2	4				管理係
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	良好な教育・保育環境を提供するために、必要性の高い事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	園の運営に配慮し、コストを抑えて実施していく必要がある。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	業務支援システムの導入により、教育・保育環境を向上させる事業であり、市の全体的な関与が必要である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	園からの連絡が電子化されることで、保護者の利便性向上につながり、市民サービスへの効果がある。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
引き続き導入した業務支援システムを活用していく。						

会計名			保育教諭研修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	保育園係	
3	2	1						幼児園係	
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	保育内容の充実と質の向上を目的に研修計画に基づき、実践に活かしていける研修や保護者支援、子育て支援につながる研修を取り入れて実施する。				主たる内容	各種研修会を開催するとともに、県・外郭団体が行う研修会に参加する。 ○各種研修会 ・保育指導研修 ・保育実技研修 ・園長、主任研修 ○研修旅費 ・園長・主任研修 ・初任・中堅保育士研修 ・新任職員セミナー 等		
		位置づけ							
		関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令							
	対象者	保育園・幼児園保育教諭				事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B事業実績 D実績 O 実施V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画	
・保育園職員研修 37回 477人 ・幼児園職員研修 28回 310人 ・保育園幼児園合同研修 10回 229人 ・愛知県現任保育士研修 5回 8人		・保育園職員研修 43回 753人 ・幼児園職員研修 26回 474人 ・保育園幼児園合同研修 11回 298人 ・愛知県現任保育士研修 5回 8人		保育園職員研修 43回 724人 ・幼児園職員研修 40回 586人 ・保育園幼児園合同研修 7回 283人 ・愛知県現任保育士研修 5回 11人		保育園職員研修 45回 700人 ・幼児園職員研修 40回 500人 ・保育園幼児園合同研修 10回 250人 ・愛知県現任保育士研修 5回 10人 ・新任職員セミナー 1回 14人			
成果		保育教諭の課題に沿った実技研修は、園で行ったことで多くの保育教諭が参加することができ、即保育に活かせることができた。園で行うことで、同じ地域の園にも案内し、共に学びあう体制づくりを整えることができた。実技研修や保育の基本である子ども理解について学ぶことで、保育に対する意欲の高まりを感じる。また階級に応じた研修を受けた職員が、自己の立場を自覚し役割に応じた職責を担い、力を発揮できている。							
課題		保育教諭研修計画に基づき、保育教諭の資質向上を目指しながらも、研修が保育教諭の負担にならず学ぶ意欲につながるようにしていくため、研修の形態及び内容や講師の選択等を考えていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
活動指標		保育士研修を受講した保育士の割合（％）			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標									
他市との比較検証									
C事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		6,240	6,392	5,912	7,949	合計 5,911,940 円		
	財源	特定財源	1,691	806	878	3,203	報償費 4,775,100 円		
		一般財源	4,549	5,586	5,034	4,746	旅費 800,290 円		
	職員人件費 ②		2,589	3,765	3,836	3,877	委託料 250,000 円		
	総事業費（①＋②）		8,829	10,157	9,748	11,826	負担金、補助及び交付金 86,550 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金			
7年度以降の事業費見込		0		教育支援体制整備事業費交付金					

会計名			保育カウンセラー事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	保育園係		
3	2	1						幼児園係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	臨床心理士等が、保育カウンセラーとして保護者等の子育てに関する相談について、専門的な立場から指導を行い、育児不安を解消したり、保育に生かしたりして育児支援を行う。				主たる内容	保育カウンセラーが市内保育園及び幼児園を年5～8回巡回し、子どもの発達や育児に悩む保護者と保育教諭等の相談に対応する。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令								
	対象者		保護者、保育園・幼児園保育教諭		事業期間	平成19年度～				
	実施方法		■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・訪問回数 170回 ・相談件数 359件 うち保護者 55件 保育士 304件		・訪問回数 172回 ・相談件数 482件 うち保護者 89件 保育教諭 393件		・訪問回数 180回 ・相談件数 500件 うち保護者 81件 保育教諭 419件		・訪問回数 210回 ・相談件数 480件		
成果		年々、気になる子や障害児は増えており、母親の子育てに関する不安感も増し、カウンセリングを受けることで、保育指導の充実と母親の子育てに関する不安解消が図れている。 各園の訪問回数を確保することで、継続観察が必要な子に時間をかけて指導がもらえ、また、保護者からの相談にも対応できるようにしている。								
課題		臨床心理士等から専門的立場で子どもを見てもらえるため、保育指導への効果が大きく、保護者への相談に柔軟に対応しているが、相談希望者が増加し一人にかかる時間も増えているため、継続的観察回数を増やす必要がある。気になる子の就学に向けて、保護者の気持ちにより添いながら、園児への適切な支援について考えていくには時間がかかることと、保護者への継続的な関わりが必要になってくることから、継続的観察回数を増やす必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		年間訪問回数（回）		170		172	180	210	220	
活動指標		相談件数（件）		359		482	500	480	500	
他市との比較検証		近隣市においても、臨床心理士等に指導を仰ぎ実施しているところもあるが、回数や時間数はばらつきがある。今後もより一層の充実を図る必要がある。								
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,686	5,192	5,660	5,775	合計	5,659,500 円		
	財源	特定財源	1,509	1,555	1,285	1,292	報償費	5,659,500 円		
		一般財源	3,177	3,637	4,375	4,483				
	職員人件費 ②		3,028	3,765	3,836	3,877				
	総事業費（①+②）		7,714	8,957	9,496	9,652				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		保育対策総合支援事業費補助金				
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			園児観劇事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	保育園係	
3	2	1						幼児園係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	園児に観劇等を鑑賞させることにより、豊かな感性を培うとともに心豊かな子どもを育てる。				主たる内容	保育園児・幼児園児を対象にした人形劇等を各保育園・幼児園で上演する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令							
		対象者	保育園児・幼児園児			事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
	・人形劇上演 (刈谷幼児園始め23園) 「金のがちょう」「スイミー」「いくぞ！ヘッポコとうぞく団」「せんたくかあちゃん」 ・劇上演（刈谷幼児園始め23園）刈谷市にちなんだ演目		・人形劇上演 (刈谷幼児園始め23園) 「ひもルンパ」「スイミー」「まほうねずみのシュッポ」「ぶんぶく茶がま」「三まいのおふだ」 ・劇上演（刈谷幼児園はじめ23園）刈谷市にちなんだ演目		・人形劇上演 (刈谷幼児園始め23園) 「ひもルンパ」「とりかえっこちびぞう」「でっかいのちっちゃいの」 ・劇上演 (刈谷幼児園はじめ19園) 刈谷市にちなんだ演目		・人形劇上演 (刈谷幼児園始め23園) 「ジャックとまめの木」「ねずみのすもう」「ひもルンパ」 ・劇上演 (刈谷幼児園はじめ19園) 刈谷市にちなんだ演目 ※園児文化・スポーツ体験事業に移行		
	成果	専門家による人形劇を観劇することにより、園児の情操を育てることができた。 毎年新しい人形劇の演目を追加し、複数の演目の中から園が選択できる方式をとっているため、園ごとの特性等を反映させ実施することができた。また、刈谷にゆかりのある作家の童話劇を観劇することで郷土に親しむことができた。							
	課題	情操教育につながる、郷土愛が深まる内容を検討する。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
	活動指標	実施回数（回）			46	46	42	42	42
	指標								
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
事業費 ①		3,605	3,661	3,926	0	合計	3,925,700 円		
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料	3,925,700 円	
		一般財源	3,605	3,661	3,926	0			
職員人件費 ②		1,060	1,054	1,074	1,861				
総事業費（①+②）		4,665	4,715	5,000	1,861				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0					
	7年度以降の事業費見込		0						

会計名			スポーツ教室事業				担当部		次世代育成部		
一般会計							担当課		子ども課		
款	項	目					担当係		保育園係		
3	2	1							幼児園係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	子育て支援								
		施策の内容	幼児教育・保育の充実								
	目的	サッカー選手の訪問指導により、スポーツのルールを学びながら、体を動かす楽しさを体験する。				主たる内容	保育園・幼児園にサッカー選手や指導者が訪問指導し、サッカーの楽しさや、サッカーを通じていろいろなルールを学びながら体を動かす楽しさを体験する。				
		位置づけ									
		関連計画									
	根拠法令										
	対象者	保育園児・幼児園児				事業期間	平成19年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
サッカー教室開催 （刈谷幼児園はじめ25園）		サッカー教室開催 （刈谷幼児園はじめ25園）		サッカー教室開催 （刈谷幼児園はじめ21園）		サッカー教室開催 （刈谷幼児園はじめ21園） ※園児文化・スポーツ体験事業に移行					
成果		園児が楽しめるメニューにより、体を動かす楽しさを体験することができた。また、チームワークが必要なスポーツであることから協調性、コミュニケーション能力を養う機会にもなった。									
課題		事業の効果をより広めるために対象を拡大したり、開催回数を増やすべきかなどを検討する必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度			
活動指標		サッカー教室の開催数（回）				50	50	42	42	42	
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,500	2,500	2,100	0	合計		2,100,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		2,100,000 円		
		一般財源	2,500	2,500	2,100	0					
	職員人件費 ②		757	753	767	1,861					
	総事業費（①+②）		3,257	3,253	2,867	1,861					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0							
		7年度以降の事業費見込		0							

会計名			チビッコ甲冑事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	1						保育園係幼児園係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	刈谷城が築城された1533年（戦国時代）当時の時代背景や出来事、刈谷城に対する考え方や歴代藩主によるまちづくり等に思いを巡らせ、未来を担う子ども達が先人の知恵や生き方を学ぶことにより、刈谷市の未来を紡ぎ出す。				主たる内容	市内保育園及び幼児園の5歳児を対象に、ダンボール（厚紙）製の甲冑を製作する。製作後は、運動会や園の行事などで活用する。			
		位置づけ								
		関連計画								
		根拠法令								
	対象者	保育園児及び幼児園児				事業期間	平成25年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
・甲冑製作 保育園18園 幼児園15園 ・各園行事実施 保育園 28回 幼児園 30回		・甲冑製作 保育園19園 幼児園15園 ・各園行事実施 保育園 28回 幼児園 32回		・甲冑製作 保育園16園 幼児園15園 ・各園行事実施 保育園 22回 幼児園 31回		・甲冑製作 保育園17園 幼児園15園 ・各園行事実施 保育園 26回 幼児園 34回				
成果		各園で甲冑製作をし、チビッコ甲冑行列を開催することで刈谷城築城当時の歴史を学ぶことができた。また、運動会や地域の行事に加え、デイサービスや老人ホーム先で披露するなど、2回以上行事で活用することができた。								
課題		子どもたちが甲冑製作や甲冑を着用した行事に参加する際に、刈谷の歴史について興味が広がるよう、歴史に触れる機会や、刈谷城や先人の知恵について話を聞くなどの行事の内容の工夫をしていく。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		行事実施回数（回）				58	60	53	60	60
指標										
他市との比較検証		刈谷市独自事業								
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,557	1,480	1,766	2,000	合計	1,766,144 円		
	財源	特定財源	1,022	1,000	1,000	1,000	需用費	1,766,144 円		
		一般財源	535	480	766	1,000				
	職員人件費 ②		2,725	3,012	3,069	3,101				
	総事業費（①＋②）		4,282	4,492	4,835	5,101				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		児童福祉事業費寄附金				
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			ちびっこ絵画展事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	保育園係	
3	2	1						幼児園係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	園児による日常的な生活表現の作品展示を通じ、児童の絵のすばらしさを知る。				主たる内容	市内保育園及び幼児園の0から5歳児が園生活の中で「思いのままに描いた」生活表現を刈谷市美術館で展示する。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	保育園児・幼児園児、保護者			事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画V	3年度実績	・参加施設 保育園 10園 幼児園 5園		・参加施設 保育園 7園 幼児園 5園		・参加施設 保育園 7園 幼児園 5園		・参加施設 保育園 7園 幼児園 5園	
		・出品人数 1,526人		・出品人数 1,540人		・出品人数 1,434人		・出品人数 1,500人	
		・絵画展 延べ来場者数 4,455人		・絵画展 延べ来場者数 4,170人		・絵画展 延べ来場者数 3,930人		・絵画展 延べ来場者数 4,500人	
	成果	子どもたちが「思いのままに描いた」絵を展示し、多くの方に見てもらうことができた。また、描かれた絵や子どもの園生活の写真を通して、乳幼児の描画発達や刈谷市の保育を知っていただくよい機会となった。							
	課題	市内全保育園・幼児園の作品を一同に展示をすることは会場面積上困難であるため、作品展示数は限られている。乳幼児の描画発達や刈谷市の保育をより理解していただくため、今後も園をグループに分けて順番に展示する方法を継続していく必要がある。							
	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
	活動指標	ちびっこ絵画展参加施設数（施設）	15	12	12	12	12		
	活動指標	ちびっこ絵画展来場者数（人）	4,455	4,170	3,930	4,500	4,500		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		650	638	750	781	合計	750,410 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	636,410 円	
		一般財源	650	638	750	781	使用料及び賃借料	114,000 円	
	職員人件費 ②		303	602	614	620			
	総事業費（①+②）		953	1,240	1,364	1,401			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0					
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			外国人園児等支援事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	幼児園係	
3	2	1						保育園係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	日本語の理解できない外国人園児や保護者に対し通訳を巡回させ、園での相談等に応じ、安定した園生活が送れる環境を整える。				主たる内容	通訳者が市内保育園及び幼児園を巡回しながら、日本語が理解出来ない園児や保護者との通訳や、手紙の翻訳等を行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	保育園児・幼児園児、保護者、保育教諭			事業期間	～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
	訪問回数 月約16回 午前3時間あるいは午後4時間 あるいは一日7時間 年間 420件		訪問回数 月約16回 午前3時間あるいは午後4時間 あるいは一日7時間 年間 350件		訪問回数 月約16回 午前3時間あるいは午後4時間 あるいは一日7時間 年間 300件		訪問回数 月約16回 午前3時間あるいは午後4時間 あるいは一日7時間 年間 480件		
	成果	日本語が通じない園児と母国語で会話したり、保護者に園での子どもの様子を伝えたりすることで、安定した園生活が送れるようになった。また、手紙や子どもの記録を翻訳して保護者に渡すことで園生活の理解につながり、保護者との意思の疎通が行われた。							
	課題	会話の理解、手紙の翻訳等を通して安定した園生活が送れるため効果が大きいのが、多様な国の園児がいるので、一人の通訳者で対応できる内容に限られた。今後は多国籍語の通訳者が必要となる。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
	活動指標	年間訪問回数（回）			171	216	243	250	250
	活動指標	相談件数（件）			420	350	300	480	480
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
事業費 ①		1,398	978	759	2,155	合計	759,140 円		
財源		特定財源	0	0	0	0	報償費	759,140 円	
		一般財源	1,398	978	759	2,155			
職員人件費 ②		757	1,129	1,151	1,551				
総事業費（①＋②）		2,155	2,107	1,910	3,706				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0					
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			認可外保育所運営支援事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	1						施設係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	認可保育所を補完するため、認可外保育所を運営する事業者に保育を委託し、認可外保育所の保育環境の向上を図る。				主たる内容	市の定める基準に適合する認可外保育所に対して、保育を必要とする3歳未満児の保育を委託する。			
		位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令	認可外保育所運営委託基準、事業所内保育所保育委託基準							
		対象者	認可外保育施設、事業所内保育所		事業期間		平成9年度～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・委託契約 13施設 ・延べ委託児童数 1,264人		・委託契約 14施設 ・延べ委託児童数 952人		・委託契約 13施設 ・延べ委託児童数 1,093人		・委託契約 13施設 ・延べ委託児童数 1,100人		
成果		令和5年度は市内13の認可外保育施設と委託契約を結び、1,093人の児童を保育することで、認可保育所に入園できなかった3歳未満児の保育環境を確保することができた。								
課題		今後保育を利用できる条件が緩和される見込みがあることや、大規模な宅地開発やマンションの建設による地域間での保育需要の差もある等、将来の待機児童の状況は不透明であるため、保育ニーズを注視しながら適正な予算措置をしていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		認可外保育所委託契約数（施設）			13	14	13	13	13	
成果指標		延べ委託児童数（人）			1,264	952	1,093	1,100	1,100	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		15,201	11,242	12,342	16,239	合計 12,341,550 円			
	財源	特定財源	114	83	60	236	委託料 12,251,200 円			
		一般財源	15,087	11,159	12,282	16,003	負担金、補助及び交付金 90,350 円			
	職員人件費 ②		1,136	1,129	1,151	0				
	総事業費（①＋②）		16,337	12,371	13,493	16,239				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		認可外保育施設衛生安全対策事業費補助金				
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			特定教育・保育施設等運営支援事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	1								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	特定教育・保育施設及び地域型保育事業を利用する児童のため、特定教育・保育施設及び地域型保育事業に対し、財政支援を行い、教育・保育環境の向上を図る。				主たる内容	保育認定で他市町村の特定保育施設に入所した場合に、入所した特定保育施設に対し、公定価格に基づく委託費の支払いを行う。また、教育認定で入所した場合や地域型保育事業を利用した場合に、公定価格に基づく施設型給付費及び地域型保育給付費の支払いを行う。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令	子ども・子育て支援法							
		対象者	特定教育・保育施設、地域型保育事業者		事業期間		～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・利用施設 17施設 ・利用児童数 117人		・利用施設 18施設 ・利用児童数 179人		・利用施設 14施設 ・利用児童数 133人		・利用施設 16施設 ・利用児童数 150人		
成果		利用施設に給付費を支給することで、施設の安定した運営に寄与することができた。								
課題		突発的な事由による利用が多いため、利用児童数や費用が安定せず、計画的な予算執行ができないこと。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		利用施設（施設）			17	18	14	16	—	
活動指標		利用児童数（人）			117	179	133	150	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		67,680	110,007	98,651	123,035	合計 98,650,823 円			
	財源	特定財源	44,285	70,566	67,456	84,613	委託料 554,620 円			
		一般財源	23,395	39,441	31,195	38,422	負担金、補助及び交付金 662,000 円			
	職員人件費 ②		379	1,807	1,841	1,706	扶助費 97,434,203 円			
	総事業費（①＋②）		68,059	111,814	100,492	124,741				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		子どものための教育・保育給付交付金				
		7年度以降の事業費見込		0		施設型教育・保育給付費等負担金				

会計名			子育てのための施設等利用給付事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	2	1						施設係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	幼児教育・保育無償化の実施に伴い、認可外保育施設、一時預かり事業、病児病後児保育事業、子育て援助活動支援事業の施設等を利用した保育を必要とする子どもの保護者へ、施設等利用費を給付し、経済的負担の軽減を図る。				主たる内容	認可外保育施設、一時預かり事業、病児病後児保育事業、子育て援助活動支援事業の施設等を利用した保育を必要とする子どもの保護者について、3～5歳児は3.7万円、0～2歳児は4.2万円（未移行幼稚園児は1.13万円）を上限に、施設等利用費を給付する。		
		位置づけ	関連計画						
		根拠法令	子ども・子育て支援法						
	対象者	施設等利用給付認定保護者			事業期間	令和元年度 ～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画	
		・給付人数 延べ8,838人		・給付人数 延べ9,040人		・給付人数 延べ8,139人		・給付人数 延べ8,139人	
成果		認可外保育施設、一時預かり事業、病児病後児保育事業、子育て援助活動支援事業の施設等を利用した保育を必要とする子どもの保護者への経済的負担を軽減することができた。							
課題		今後保育を利用できる条件が緩和される見込みがあることや、大規模な宅地開発やマンションの建設による地域間での保育需要の差もある等、将来の待機児童の状況は不透明であるため、保育ニーズを注視しながら適正な予算措置をしていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
活動指標		延べ児童数（人）			8,838	9,040	8,139	8,139	8,139
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		25,136	26,926	27,974	40,108	合計	27,974,098 円	
	財源	特定財源	22,462	23,223	20,796	30,079	扶助費	27,974,098 円	
		一般財源	2,674	3,703	7,178	10,029			
	職員人件費 ②		1,893	2,033	2,072	0			
	総事業費（①＋②）		27,029	28,959	30,046	40,108			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		子育てのための施設等利用給付交付金			
		7年度以降の事業費見込		0		子育て支援施設等利用給付費負担金			

会計名			私立幼稚園利用給付事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	1						施設係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	幼児教育・保育無償化への実施に伴い、私立幼稚園を利用した保護者へ、施設等利用費及び給食費の補助を給付し、経済的負担の軽減を図る。				主たる内容	私立幼稚園を利用した保護者について、月額25,700円を上限に施設等利用費を給付し、低所得世帯及び国基準の第3子の世帯に給食費の一部を補助する。			
		位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令	子ども・子育て支援法							
		対象者	施設等利用給付認定保護者		事業期間		令和元年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・給付人数 延べ5,637人 ・副食費免除者数 24人		・給付人数 延べ5,112人 ・副食費免除者数 20人		・給付人数 延べ4,180人 ・副食費免除者数 13人		・給付人数 延べ5,208人 ・副食費免除者数 20人		
成果		私立幼稚園を利用する子どもの保護者への経済的負担の軽減することができた。								
課題		将来の利用者数の状況は不透明ではあるが、大規模な宅地開発やマンション建設などを注視しつつ、適正な予算措置をしていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		延べ児童数（人）			5,637	5,112	4,180	5,208	5,208	
活動指標		副食費免除児童数（人）			24	20	13	20	20	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		140,497	119,997	106,898	131,273	合計 106,897,626 円			
	財源	特定財源	100,210	86,486	76,429	98,389	負担金、補助及び 交付金 403,905 円			
		一般財源	40,287	33,511	30,469	32,884	扶助費 106,493,721 円			
	職員人件費 ②		757	1,129	1,151	775				
	総事業費（①＋②）		141,254	121,126	108,049	132,048				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		子育てのための施設等利用給付交付金 私立幼稚園授業料等軽減補助金 他				
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			保育園等管理事業				担当部		次世代育成部		
一般会計							担当課		子ども課		
款							項目		施設係		
3							2		3		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	子育て支援								
		施策の内容	幼児教育・保育の充実								
	目的	公立保育園等を適切に維持管理することにより、保育園児の快適な生活環境を維持する。				主たる内容	各種設備の保守管理を始めとした園に関する維持管理業務を行う。				
	位置づけ	関連計画									
		根拠法令									
	対象者		保育園児、保護者				事業期間		～		
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画				
	光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園等を維持管理した。		光熱水費、修繕料、おがきえ・あおば保育園の指定管理料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園等を維持管理する。				
	成果		円滑に保育園等を管理することができた。								
	課題		今後も園児の快適な生活環境を維持するよう努めていく必要がある。また、燃料費の高騰、夏季の高温化に伴う光熱水費、樹木の高木化による剪定委託料、施設・設備の老朽化による修繕料等の増加が予想される。								
	指標名称（単位）				実績値			目標値			
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
	指標										
	指標										
	他市との比較検証										
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
事業費 ①		64,306	76,414	70,913	502,458	合計 70,912,971 円					
財源		特定財源	10	9	9	56,290	需用費 40,213,092 円				
		一般財源	64,296	76,405	70,904	446,168	役務費 1,959,766 円				
職員人件費 ②		3,710	3,915	3,990	4,652	委託料 15,904,839 円					
総事業費（①+②）		68,016	80,329	74,903	507,110	使用料及び賃借料 12,835,274 円					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
		7年度以降の事業費見込		0							

会計名			公立保育所指定管理事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	おがきえ保育園とあおば保育園の管理運営を指定管理者に委託し、さまざまな保育ニーズに対応することで保育体制の充実を図る。				主たる内容	通常保育及び延長保育、休日保育、一時保育の業務を指定管理者に委託する。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者		公設民営保育所			事業期間	平成17年度～		
	実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他						
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
	おがきえ保育園 あおば保育園		おがきえ保育園 あおば保育園		おがきえ保育園 あおば保育園		おがきえ保育園 あおば保育園 ※保育園等管理事業に統合		
	成果		延長保育、休日保育、一時保育など多くの保育サービスが実施できた。						
	課題		施設の老朽化に伴い、改修が必要な箇所が年々増えている。						
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
	成果指標	スタッフの対応、保育の内容の満足度を満足及びやや満足と回答した割合（%）※2園の平均			89.0	93.0	90.4	93.0	93.0
	指標								
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
事業費 ①		392,861	392,235	402,327	0	合計	402,326,925 円		
財源		特定財源	52,697	44,556	41,065	0	委託料	402,326,925 円	
		一般財源	340,164	347,679	361,262	0			
職員人件費 ②		757	1,355	2,148	0				
総事業費（①+②）		393,618	393,590	404,475	0				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		公立保育所保育料 子ども・子育て支援交付金 保育対策総合支援事業費補助金 他			
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			園舎補修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	保育園等の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、園舎及び施設等を補修する。			主たる内容	不便になった園舎や施設等を補修したり延命化のための予防的な修繕を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	保育園児、保護者		事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画			
		・日高保育園テラス床修繕 ・おがきえ保育園遊戯室舞台幕修繕 ・あおば保育園ダイノックシート張替修繕 ・あおば保育園外壁改修		・かりがね保育園遊戯室舞台修繕 ・かりがね保育園遊戯室床修繕 ・かりがね保育園南側デッキ防水修繕 ・おがきえ保育園扉ガラリ修繕 ・内装等修繕（慈友除く9園）		・あおば保育園トイレ流し修繕 ・さくら保育園フェンス土台修繕 ・かりがね保育園乳児室前テラス修繕 ※保育園等補修事業に移行			
		成果					園舎、施設等を補修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。		
		課題					本事業は主に大規模ではない園舎、施設等の修繕を行うものであるが、建替えや大規模改造の実施により補修箇所は減少傾向にある。しかし、不具合箇所の早期発見、早期補修による予防的保全と、良好な保育環境を維持する必要がある。		
	指標名称（単位）			実績値		目標値			
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	活動指標	補修箇所数（箇所）		4	5	1	2	—	
	指標								
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
事業費 ①		1,097	1,686	149	0	合計	148,500 円		
財源		特定財源	0	352	0	0	需用費	148,500 円	
		一般財源	1,097	1,334	149	0			
職員人件費 ②		681	678	614	0				
総事業費（①＋②）		1,778	2,364	763	0				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0					
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			園舎取壊し事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	待機児童対策のため、閉鎖予定のさくら保育園北園舎を一時的に活用してきたが、待機児童の状況が改善されたため、一時活用を終了し、閉園する。				主たる内容	さくら保育園北園舎が、築50年経過して老朽化が進んでいるため、取壊しを行う。			
		位置づけ								
		関連計画								
		根拠法令								
	対象者					事業期間	令和5年度～令和6年度			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
				・取壊し工事設計業務委託		・取壊し工事				
成果		次年度の取壊し工事開始にあたり、滞りなく設計業務委託を行うことができた。								
課題		取壊し工事のスケジュール等について、引き続き、地区や近隣住民等の関係各者との調整が必要となる。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		事業進捗率（%）						40	100	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	1,899	0	合計	1,899,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,899,000 円		
		一般財源	0	0	1,899	0				
	職員人件費 ②		0	0	153	1,241				
	総事業費（①＋②）		0	0	2,052	1,241				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0						
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			園舎改修事業				担当部	次世代育成部			
一般会計							担当課	子ども課			
款	項	目					担当係	施設係			
3	2	3									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心								
		基本施策	子育て支援								
		施策の内容	幼児教育・保育の充実								
	目的	保育園等の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、園舎及び施設等を改修する。				主たる内容	不便になった園舎や施設等の比較的大規模な改修や、延命化のための予防的な保全を行う。				
		位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画							
		根拠法令									
		対象者	保育園児、保護者		事業期間		～				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績			4年度実績		5年度実績		6年度計画		
					・乳児園園銘板等取替工事 ・【FM】日高保育園南舎外壁改修工事		・かりがね保育園遊戯室屋根防水等改修工事 ・かりがね保育園遊戯室フィルム貼等工事 ・東刈谷保育園他1園名札ケース設置工事		・かりがね保育園外倉庫防水等改修工事 ・かりがね保育園職員トイレ改修工事 ・かりがね保育園西側昇降口改修工事 ・日高乳児園駐車場設置工事 ・日高乳児園駐車場表面改修工事 他 ※保育園等改修事業に移行		
成果					園舎、施設等を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。						
課題					本事業は主に園舎、施設等の大規模な改修を行うものであるが、建替えや大規模改造の実施により改修箇所は減少傾向にある。しかし、今後も外壁改修や屋上防水のように定期的に改修が必要な箇所については、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。						
指標名称（単位）			実績値			目標値					
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度				
活動指標		改修箇所数（箇所）		0	2	3	11	—			
指標											
他市との比較検証		近隣市においても、施設保全計画に基づいて事業を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	5,739	16,049	0	合計	16,049,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	16,049,000 円			
		一般財源	0	5,739	16,049	0					
	職員人件費 ②		0	678	614	0					
	総事業費（①+②）		0	6,417	16,663	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称						
		5年度までの累積事業費		0							
		7年度以降の事業費見込		0							

会計名			屋外施設整備事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							

PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心				
		基本施策	子育て支援				
		施策の内容	幼児教育・保育の充実				
	目的	保育園等の遊具等の安全性向上や施設の延命化を図るため、屋外施設を整備する。			主たる内容	不便になった屋外施設、遊具等を改修したり、延命化のための予防的な保全を行う。	
	位置づけ	関連計画					
		根拠法令					
	対象者	保育園児、保護者			事業期間	～	
実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						

BDO 事業実績 計画V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画			
		・富士松北保育園滑り台設置工事 ・日高保育園園庭外周フェンス改修工事 ・かりがね保育園門扉改修工事 ・あおば保育園アスファルト改修工事		・遊具補修		・富士松北乳児園遊具移設工事 ・日高乳児園他複合遊具更新工事 ・かりがね保育園南門掲示板撤去工事 ・あおば保育園複合遊具更新工事 ・YMCA保育園湧水対策工事 他		※保育園等改修事業に移行	
		フェンス改修等で危険箇所の迅速な修繕により、安全性の向上に努めることができた。							
	成果	遊具の老朽化が多く見られ、点検による指摘も多い。今後、単年度に経費が集中しないよう、順次更新や修繕計画を立て、より安心・安全な施設管理を実施する必要がある。							
	課題								
	指標名称（単位）			実績値		目標値			
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	活動指標	遊具改修数（基）		2	2	3	—	—	
	指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,299	3,039	22,272	0	合計	22,271,587 円	
	財源	特定財源	0	1,319	686	0	需用費	962,387 円	
		一般財源	3,299	1,720	21,586	0	工事請負費	21,309,200 円	
	職員人件費 ②		681	678	3,299	0			
	総事業費（①＋②）		3,980	3,717	25,571	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		保育環境改善等事業費補助金			
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			設備等改修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	保育園等の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、設備を改修する。				主たる内容	不便になった設備を改修したり、延命化のための保全を行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	保育園児、保護者				事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
	・富士松北保育園屋外手洗い場設置工事 ・富士松北保育園他2園便器改修工事 ・日高保育園屋外シャワー設置工事 ・かりがね保育園保育室手洗い場設置工事		・かりがね保育園非常放送設備修繕 ・かりがね保育園給湯器修繕 ・日高保育園給湯器修繕 ・おがきえ保育園調理室給湯工事（R3繰越分） ・おがきえ保育園保育室空調設備改修工事		・かりがね保育園他1園防犯カメラ改修工事 ・双葉乳児園ファンコイル12台部品取替工事		※保育園等改修事業に統合		
	成果	老朽化した設備を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。							
	課題	建替え及び大規模改造の実施により、改修箇所は減少傾向にある。しかし、空調機など定期的に更新が必要な設備については、公共施設維持保全計画に基づき、計画的に改修を行う必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
	活動指標	改修箇所数（箇所）			4	5	2	—	—
	指標								
	他市との比較検証	近隣市においても、施設保全計画に基づいて事業を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。							
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
事業費 ①		9,677	9,779	27,629	0	合計	27,628,700 円		
財源		特定財源	0	8,356	24,164	0	工事請負費	27,628,700 円	
		一般財源	9,677	1,423	3,465	0			
職員人件費 ②		681	678	537	0				
総事業費（①＋②）		10,358	10,457	28,166	0				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		前年度繰越金			
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			給食運営事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	発達段階に応じた給食を提供し、栄養補給と心身の健全育成を目指し、円滑な保育園等の給食運営を図る。 また、給食調理業務は、少人数職種で勤務体制を編成しにくい状況のため、給食調理業務を委託し経費等の効率化を図る。				主たる内容	保育園等の賄材料費等の支払いや、調理室内の消耗品、備品等を順次更新する。 公立保育園等の給食調理業務を委託する。			
		位置づけ								
		関連計画								
		根拠法令								
	対象者	保育園児、給食担当職員、事業者				事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
・ 厨房機器年間保守委託（富士松南保育園他7園） ・ パススルー冷凍冷蔵庫、製氷機、ガス回転釜の更新（おがきえ保育園） ・ 給食献立検討会の実施 ・ 給食用食器の補充		・ 厨房機器年間保守委託（富士松南保育園他7園） ・ 給食用冷凍庫、ガス炊飯器の更新（おがきえ保育園） ・ 給食献立検討会の実施 ・ 給食用食器の補充		・ 厨房機器年間保守委託（富士松南保育園他7園） ・ 食器消毒保管庫、食器洗浄機、ガス回転釜の更新（あおば保育園） ・ 給食献立検討会の実施 ・ 給食担当者研修会の実施 ・ 給食用食器の補充		・ 給食調理業務委託及び厨房機器年間保守委託（富士松南保育園他7園） ・ スチームコンベクションオーブン、炊飯器、ガステーブルの更新（あおば保育園） ・ 給食献立検討会の実施 ・ 給食担当者研修会の実施 ・ 給食用食器の補充				
成果		計画に基づき、厨房機器や配膳用物品等を更新することで安全で衛生的な給食を提供することができた。また、給食献立検討会で前年の献立を点検・評価することで、適切な給食の提供をすることができた。								
課題		アレルギー児の増加や、乳児枠拡大に伴い0歳児、1歳児の入所増加により、今後もアレルギー食、離乳食等の個々に応じた給食の正確な提供が必要となる。 アレルギー食や離乳食など細かい対応への依頼が増加していることから、今後もさらなる連携が必要となる。また、受託者側の賃金の増加に伴う委託料の増加が見込まれる。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		給食用食器の更新率（％）				100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		122,577	117,706	116,050	254,192	合計	116,050,252 円		
	財源	特定財源	53,057	47,074	43,913	64,428	需用費	112,545,652 円		
		一般財源	69,520	70,632	72,137	189,764	役務費	429,000 円		
	職員人件費 ②		2,271	3,012	3,606	6,513	委託料	638,000 円		
	総事業費（①＋②）		124,848	120,718	119,656	260,705	備品購入費	2,437,600 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		給食費徴収金 資源売却収入				
7年度以降の事業費見込		0								

会計名			給食調理業務委託事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	給食調理業務は、少人数職種で勤務体制を編成しにくい状況のため、給食調理業務を委託し経費等の効率化を図る。				主たる内容	〇公立保育園等の給食調理業務委託			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	事業者		事業期間	平成11年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績	給食調理業務委託 （富士松南、富士松北、慈友、双葉、さくら、日高、東刈谷、かりがね保育園）		4年度実績 給食調理業務委託 （富士松南、富士松北、慈友、双葉、さくら、日高、東刈谷、かりがね保育園）		5年度実績 給食調理業務委託 （さくら保育園、富士松南保育園、かりがね保育園、東刈谷保育園、日高乳児園、富士松北乳児園、慈友乳児園、双葉乳児園）		6年度計画 ※給食運営事業に統合		
		成果	直営にて運営すると急な体調不良や忌引き等による調理員の欠員などの調整が煩雑であるが、委託したことにより確実な人員配置ができています。							
		課題	アレルギー食や離乳食など細かい対応への依頼が増加していることから、今後もさらなる連携が必要となる。また、受託者側の賃金の増加に伴う委託料の増加が見込まれる。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	活動指標	給食業務の委託割合（％）			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	指標									
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
事業費 ①		120,755	121,682	122,557	0	合計	122,556,672 円			
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料	122,556,672 円		
		一般財源	120,755	121,682	122,557	0				
職員人件費 ②		2,271	2,635	2,839	0					
総事業費（①＋②）		123,026	124,317	125,396	0					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0						
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			幼児園管理事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	4								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	幼児園を適切に維持管理することにより、 幼児園児の快適な生活環境を維持する。				主たる内容	各種設備の保守管理を始めとした園に関する 維持管理業務を行う。			
		位置づけ								
		関連計画								
	根拠法令									
	対象者	幼児園児				事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼児園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼児園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼児園を維持管理した。		光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼児園を維持管理する。				
成果		円滑に幼児園を維持管理することができた。								
課題		今後も園児の快適な生活環境を維持するよう努めていく必要がある。また、燃料費の高騰、夏季の高温化に伴う光熱水費、樹木の高木化による剪定委託料、施設・設備の老朽化による修繕料等の増加が予想される。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度 事業費内訳		
	事業費 ①		66,497	75,209	71,060	81,165	合計	71,060,110 円		
	財源	特定財源	14	12	12	12	需用費	41,388,132 円		
		一般財源	66,483	75,197	71,048	81,153	役務費	3,321,487 円		
	職員人件費 ②		3,634	3,614	4,374	4,187	委託料	20,834,409 円		
	総事業費（①+②）		70,131	78,823	75,434	85,352	使用料及び賃借料	5,516,082 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料				
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			園舎改修事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	幼児教育・保育の充実						
	目的	幼児園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、園舎及び施設等を改修する。				主たる内容	老朽化により不便になった園舎や施設等の比較的大規模な改修や、延命化のための予防的な保全を行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	幼児園児、保護者			事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
			・【FM】刈谷幼児園大規模改修工事設計委託 ・【FM】小高原幼児園大規模改修工事設計委託 ・【FM】富士松北幼児園屋上防水改修工事（R3繰越分） ・【FM】平成幼児園外壁等改修工事		・【FM】衣浦幼児園大規模改修工事設計委託 ・富士松北幼児園屋上防水改修工事 ・衣浦幼児園電灯幹線ケーブル改修工事 ・双葉幼児園外部通路フェンス設置工事 ・朝日幼児園非常階段入口扉設置工事 他		・衣浦幼児園藤棚等塗装工事 ・衣浦幼児園北側フェンス改修工事 ・小高原幼児園他5園砂場枠補修工事 ・かりがね幼児園遊戯室音響設備改修工事 ・日高幼児園他2園フェンス改修工事 他 ※幼児園改修事業に移行		
	成果	老朽化した園舎、施設等を改修し、保育環境を良好なものに改善するとともに、予防的に施設を保全し、施設の延命化を図ることができた。							
	課題	本事業は主に園舎、施設等の大規模な改修を行うものであるが、大規模改造の実施により、改修箇所は減少傾向にある。しかし今後も外壁改修や屋上防水のように定期的に改修が必要な箇所については、公共施設維持保全計画に基づき、計画的に改修を行う必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
	活動指標	大規模改造設計（園）			0	2	1	—	—
	活動指標	屋上防水又は外壁改修工事（園）			0	2	1	—	—
	他市との比較検証	近隣市においても、施設保全計画に基づいて事業を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。							
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
事業費 ①		0	60,154	17,610	0	合計	17,609,700 円		
財源		特定財源	0	19,318	0	0	委託料	9,748,200 円	
		一般財源	0	40,836	17,610	0	工事請負費	7,861,500 円	
職員人件費 ②		0	2,635	2,686	0				
総事業費（①＋②）		0	62,789	20,296	0				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0					
	7年度以降の事業費見込		0						

会計名			屋外施設整備事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	子ども課	
款	項	目					担当係	施設係	
3	2	4							

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心				
		基本施策	子育て支援				
		施策の内容	幼児教育・保育の充実				
		目的	幼児園の遊具等の安全性向上や施設の延命化を図るため、屋外施設を整備する。		主たる内容	老朽化により不便になった屋外施設、遊具等を改修したり、延命化のための予防的な保全を行う。	
	位置づけ	関連計画					
		根拠法令					
	対象者	幼児園児、保護者		事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他					

BDO 事業実績 計画 V	3年度実績	4年度実績		5年度実績		6年度計画			
		・富士松北幼児園屋外時計取替修繕 ・かりがね幼児園遊具改修工事 ・富士松南幼児園総合遊具改修工事 ・東刈谷幼児園側溝改修工事 ・かりがね幼児園園舎裏扉設置工事		・小垣江幼児園遊具修繕 ・朝日幼児園中庭人工芝修繕 ・小高原幼児園屋外時計取替工事		・衣浦幼児園園庭土壌改修工事 ・富士松南幼児園せせらぎ排水管改修工事 ・井ヶ谷幼児園砂場改良工事 ・井ヶ谷幼児園屋外倉庫設置工事 (R4繰越分) ・日高幼児園駐車場整備工事 他		(R5繰越分) ・富士松北幼児園駐車場整備工事 ※幼児園改修事業に移行	
		成果	遊具点検等で指摘を受けた遊具の危険箇所の迅速な修繕により、安全性の向上に努めることができた。						
		課題	遊具の老朽化が多く見られ、点検による指摘も多い。今後、単年度に経費が集中しないよう、順次更新や修繕計画を立て、より安心・安全な施設管理を実施する必要がある。						
	指標名称（単位）			実績値		目標値			
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	活動指標	遊具改修数（基）		2	1	1	—	—	
	指標								
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		6,624	18,234	36,318	10,200	合計	36,317,820 円
	財源	特定財源	0	2,247	19,828	0	需用費	1,765,220 円
		一般財源	6,624	15,987	16,490	10,200	工事請負費	29,279,100 円
	職員人件費 ②		1,438	1,882	1,151	0	公有財産購入費	5,273,500 円
	総事業費（①+②）		8,062	20,116	37,469	10,200		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0	前年度繰越金			
		7年度以降の事業費見込		0				

会計名			設備等改修事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	施設係		
3	2	4								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	幼児園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、設備を改修する。				主たる内容	老朽化により不便になった設備を改修したり、延命化のための保全を行う。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者	幼児園児、保護者				事業期間	～			
実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
	・小垣江東幼児園下水道接続工事		・小高原幼児園給食室電動シャッター改修工事 ・小垣江幼児園保育室空調機改修工事 ・東刈谷幼児園照明設置工事 ・東刈谷幼児園園舎裏改修工事		・平成幼児園預かり保育室空調機更新工事 ・かりがね幼児園1階和室空調機設置工事 ・平成幼児園休憩室空調機設置工事 ・かりがね幼児園他5園防犯カメラ設備改修工事 ・日高幼児園他3園照明設置工事 他		・かりがね幼児園2階天窓修繕 ・かりがね幼児園他2園遊戯室舞台幕修繕 ・平成幼児園給食室棟外壁一部等修繕 ※幼児園補修事業に移行			
	成果	老朽化した設備を改修し保育環境を良好なものに改善するとともに予防的に施設を保全し施設の延命化を図ることができた。								
	課題	建替え及び大規模改造の実施により、改修箇所は減少傾向にある。しかし、空調機など定期的に更新が必要な設備については、計画的に改修を行う必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	活動指標	改修箇所数（箇所）				1	4	13	3	—
	活動指標									
	他市との比較検証	近隣市においても施設保全計画に基づいて事実を実施しているが、計画のあり方は市によって異なり、当市では長寿命化に重点を置いている。								
	C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
事業費 ①		13,791	2,329	9,471	0	合計	9,471,000 円			
財源		特定財源	0	0	2,039	0	工事請負費	9,471,000 円		
		一般財源	13,791	2,329	7,432	0				
職員人件費 ②		0	527	997	0					
総事業費（①＋②）		13,791	2,856	10,468	0					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		保育環境改善等事業費補助金				
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			給食運営事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	幼児園係		
3	2	4								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	幼児教育・保育の充実							
	目的	発達段階に応じた給食を提供し、栄養補給と心身健全育成を目指し、円滑な幼児園の給食運営を図る。			主たる内容	給食の実施に必要な消耗品等の購入及び会計年度任用職員の雇用を行う。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	幼児園児		事業期間	平成11年度～				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画			
	安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 牛乳アレルギーへの対応 1号認定（預かり保育申込児） 2号認定のおやつ購入		安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 牛乳アレルギーへの対応 1号認定（預かり保育申込児） 2号認定のおやつ購入		安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 牛乳アレルギーへの対応 1号認定（預かり保育申込児） 2号認定のおやつ購入		安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 牛乳アレルギーへの対応 1号認定（預かり保育申込児） 2号認定のおやつ購入			
	成果	給食事業に必要な消耗品の購入や衛生に留意した設備の管理等をし、安全な給食が提供できている。 マニュアルの見直しを毎年行い、常に、安全安心な給食が提供できている。								
	課題	牛乳・卵アレルギーがある幼児については、安全に留意し、おやつを食べる幼児全員に牛乳・卵を除去したおやつを提供している。しかし、様々なアレルギーのある幼児が増加していることから、園とのさらなる連携が必要となる。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
	指標									
	指標									
	他市との 比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		3年度 （決算）	4年度 （決算）	5年度 （決算）	6年度 （予算）	5年度 事業費内訳		
事業費 ①		26,163	28,602	31,377	40,843	合計	31,376,625 円			
財源		特定財源	11,330	11,342	11,822	10,057	報酬	15,400,554 円		
		一般財源	14,833	17,260	19,555	30,786	職員手当等	3,104,435 円		
職員人件費 ②		757	753	767	775	旅費	456,450 円			
総事業費（①+②）		26,920	29,355	32,144	41,618	需用費	12,415,186 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0		給食費徴収金				
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			地域子育て支援事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	子ども課		
款	項	目					担当係	幼児園係		
3	2	4								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援							
	目的	少子化や子育てを巡る様々な問題に対し、地域の方に幼児園で行う講演会や親子触れ合い遊びなどの講座を提供することで、子育ての支援をするとともに、地域全体の教育の向上を図る。				主たる内容	保護者に対する教育相談や幼児教育に関する各種講座を開催する。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令								
	対象者		小学校入学前の子どもとその保護者		事業期間	平成12年度～				
	実施方法		■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		○ほのぼのルーム全幼児園15園で実施 5月から3月までの15回実施のべ利用者数4,008人（1園1回あたり平均利用者数17人） ○親子触れ合い遊び、各種講座 5月から3月までの55回実施のべ利用者数2,966人		○ほのぼのルーム全幼児園15園で実施 5月から3月までの15回実施のべ利用者数4,438人（1園1回あたり平均利用者数13人） ○親子触れ合い遊び、各種講座 5月から3月までの52回実施のべ利用者数2,597人		○ほのぼのルーム全幼児園15園で実施 5月から3月までの22回実施のべ利用者数3,980人（1園1回あたり平均利用者数11人） ○親子触れ合い遊び、各種講座 5月から3月までの65回実施のべ利用者数4,251人		各種講座、親子触れ合い遊び ○ほのぼのルーム（5月から3月まで）全幼児園15園で実施 ○親子触れ合い遊び・各種講座		
成果		幼児に対する各種講座やほのぼのルームで地域の教育センターとして施設や機能を地域に開放したことで積極的に子育て支援をすることができた。								
課題		ほのぼのルームへの関心が高まっているため、園と連携して内容の充実を図っていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		実施回数（回）			55	52	65	60	60	
活動指標		利用者数（人）			2,966	2,597	4,251	3,000	3,000	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,614	1,789	2,038	2,268	合計	2,038,321 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	1,927,028 円		
		一般財源	1,614	1,789	2,038	2,268	需用費	111,293 円		
	職員人件費 ②		0	753	767	775				
	総事業費（①+②）		1,614	2,542	2,805	3,043				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0						
		7年度以降の事業費見込		0						